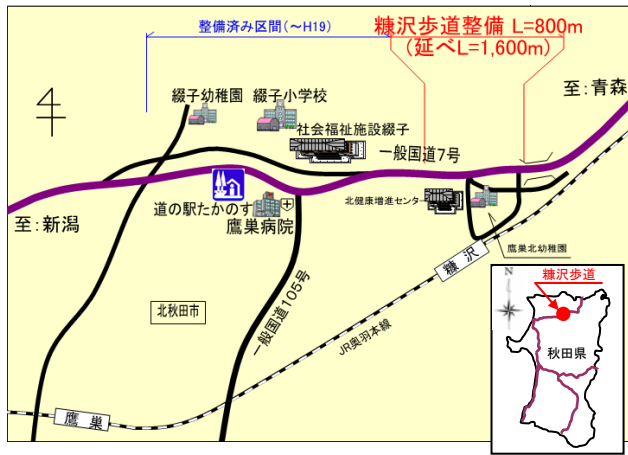


歩道整備で歩行者の約9割が満足。死傷事故がゼロ。

- ・歩道利用者は安全・安心、交通円滑化を実感(回答者の約9割が満足)
- ・過去4年間(H18～21)で平均1.8件発生していた事故が、整備後0件に減少。



実施対策 ～実施した主な対策の内容は～

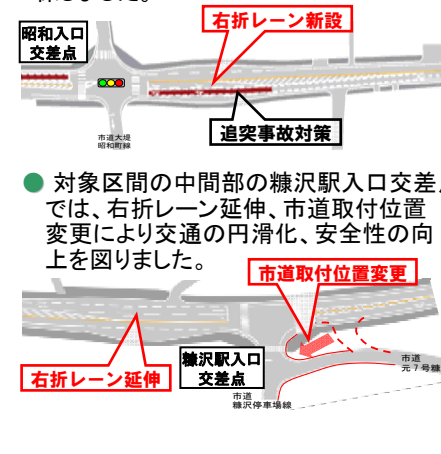
■ 歩道整備・路肩拡幅

- 新たな歩道設置や既設歩道を拡幅し、歩行空間を確保しました。
- 路肩を拡幅し、冬期堆雪幅を確保しました。



■ 交差点改良(右折レーン設置等)

- 新潟側の昭和入口交差点において、右折レーン新設等により交通円滑性を確保しました。
- 対象区間の中間部の糠沢駅入口交差点では、右折レーン延伸、市道取付位置変更により交通の円滑化、安全性の向上を図りました。



■ 追突事故対策;『カラー舗装』『ドットライン』 『注意喚起路面標示(追突注意)』 etc

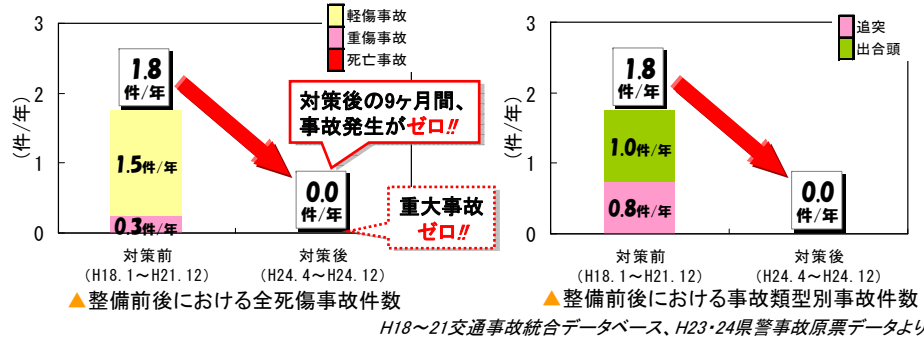
- カラー舗装や追突注意の路面標示により通過車両への注意喚起を図りました。
- ドットラインにより車線を視覚的に狭く見せることで速度抑制、注意喚起を図りました。



整備効果 ～対策実施による効果は～

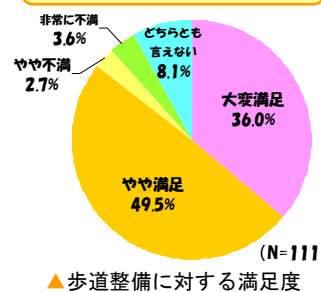
■ 重大事故が未発生!!

① 対策実施後、事故ゼロ!!



■ 整備区間を通行する際の安全・安心が確保され、交通も円滑化!!

② 沿線地域住民は安全・安心、交通円滑化を実感しており、実施対策に満足!!



▼整備前に危険や不満を感じていた状況とその整備後の状況変化

視点	整備前の状況	整備後の状況変化
歩行者・自転車	車道(路肩)を通行しなければならず、脇を通る自動車やバイクが怖かった	整備前と怖さは変わらない 4.9% 歩道を通るように怖さがなくなった。73.8% 怖さはある程度減少した。21.3% (N=61)
	既設の歩道は、幅が狭い空間があり、歩行者や自転車とすれ違う際に接触しそうなところがある	接触の心配は整備前と変わらない 7.5% 接触の心配がなくなった。62.3% ある程度減少した。30.2% (N=53)
自動車・二輪車	路肩が狭いため、路肩を通行する自転車に接触しそうなところがある	接触の危険性が整備前と変わらない 16.2% 接触の危険性が全くなくなった。51.4% 接触の危険性がある程度減少した。32.4% (N=37)
	交差点を通過する際に、右折待ちの車によって、走行を阻害されたことがあった	整備前と変わらない 12.0% 右折車による走行阻害がなくなった。32.0% 右折車による走行阻害が減少した。56.0% (N=50)

H24.9実施の沿線地域住民へのアンケート調査結果より